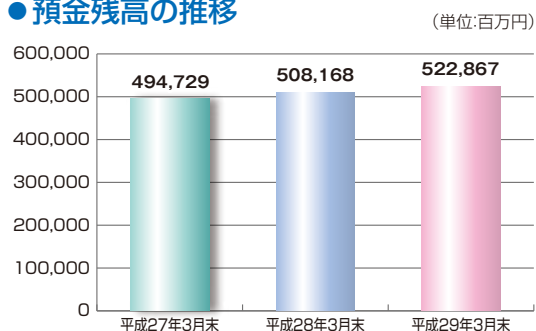


金融機関の総合的な競争はますます厳しくなっておりますが、地域のみなさまのご支援により、預金、融資、収益等の各部門で、次のような業績を挙げることができました。

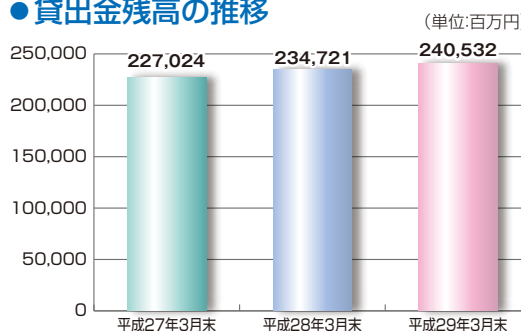
業績は堅調を維持しております。

■ 預金・貸出金の状況

● 預金残高の推移

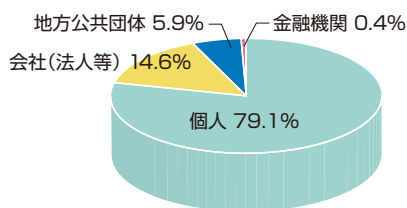


● 貸出金残高の推移



● 預金積金について ▶ 詳細P46

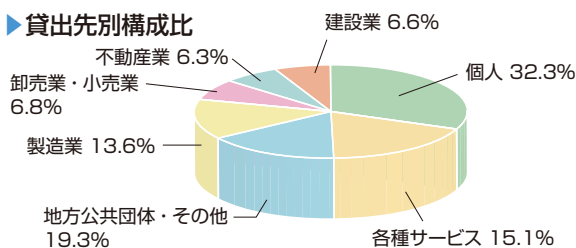
▶ 預金者別構成比



▶ 預金積金残高 5,228億円

● 貸出金について ▶ 詳細P47

▶ 貸出先別構成比



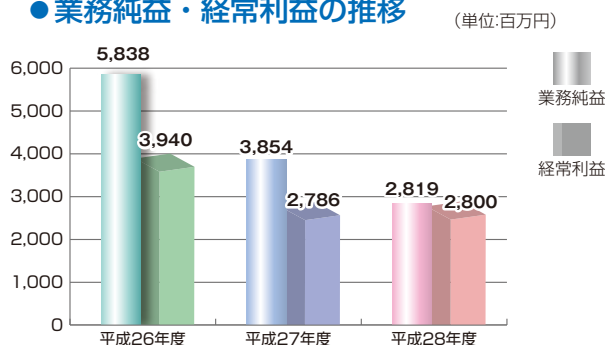
▶ 貸出金残高 2,405億円 ▶ 預貸率(注1) 46.0%

※貸出金は原則として会員の方にご利用いただきます。
(注1) 預金の残高に対する貸出金の残高の割合を預貸率といいます。

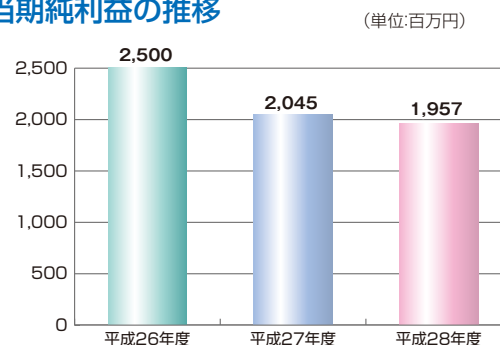
預金の期末残高は、法人預金が前年度比で77億94百万円、個人預金が69億4百万円の増加となったため、総体では146億98百万円増加し、5,228億67百万円となりました。また、貸出金の期末残高は、個人向け貸出金が前年度比で37億99百万円増加し、事業向け及びその他貸出金については20億11百万円の増加となったため、総体では58億10百万円増加し、2,405億32百万円となりました。

■ 損益の状況

● 業務純益・経常利益の推移



● 当期純利益の推移



前年度と比べて減益となったものの、利益レベルは高い水準を維持しております。

有価証券の含み益は302億円。

■有価証券の状況

●平成29年3月末／保有有価証券の時価情報 (単位:百万円)

		取得原価	時 価	評価差額
保有有価証券	株 式	7,708	10,357	2,648
	債 券	240,253	263,789	23,536
	その他	34,651	38,691	4,039
合 計		282,613	312,838	30,225

お客さまからお預かりした預金のうち、貸出金に回らない資金は主に有価証券にて運用しております。堅実な資金運用と運用資産の健全化に取り組んだ結果、当期末の有価証券の含み益は302億円にのぼりました。これは、信用金庫業界トップクラスの水準です。

自己資本の額は522億円。

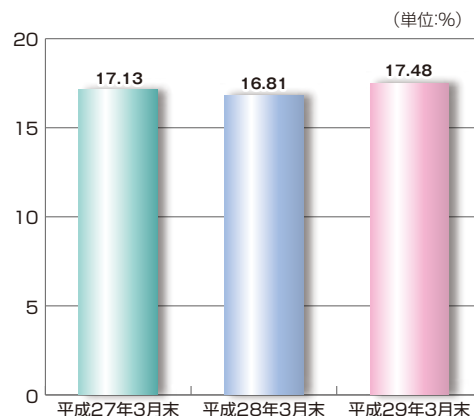
■自己資本比率

●自己資本比率の推移

分子である自己資本の額は、当期純利益19億57百万円を計上したことなどから、前期末比4.39%増加し522億89百万円となりました。一方、預金の堅調な増加に伴い総資産額は2.85%増加しましたが、その過半がリスク・ウェイトの低い預け金に振り向けられたことなどから、分母であるリスク・アセットは前期末比0.35%の増加にとどまりました。

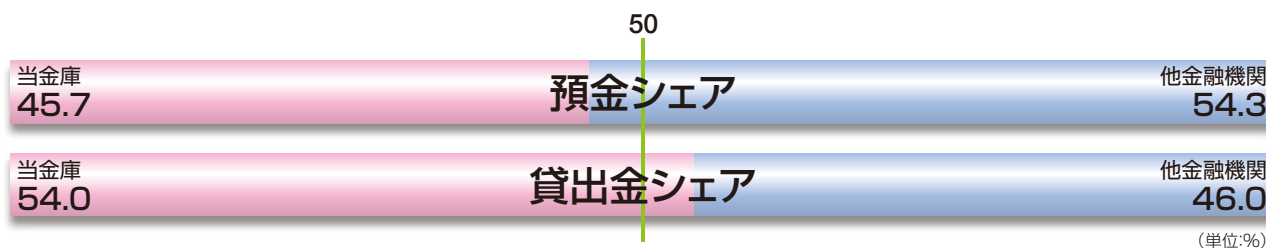
この結果、当期末の自己資本比率は、前期末の16.81%から0.67ポイント上昇し17.48%となりました。

当金庫の自己資本比率は国内基準の4倍以上となっており、強固な体質を維持しております。



地区内シェアはNo.1。

■地区内シェアの状況



地域のみなさまから厚い信頼をいただき、当金庫の主要営業地区である飯田・下伊那の金融機関(ゆうちょ銀行を除く)内における預金残高シェアは45.7%、貸出金残高シェアは54.0%となっております。(みなみ信州農協は2月末、その他の金融機関は3月末の残高による比較) ※他金融機関は、飯田下伊那地区内の銀行、信用組合、農協における預金、貸出金の合計